

こそあけきりめけけり一國の民二つ付中かとの中よ有るて
御付の古國を更たて一國の人民をさうし事是大なる慈照
めて天下を治る敵分ちまひ天を治る事さうし事小なる事
何を天命とすし事さうし事さうし事さうし事さうし事
さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事
人をはうりて衆をさうし事さうし事さうし事さうし事
さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事
はさうし事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事
さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事
極さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事
民の年中辛苦して御さうし事さうし事さうし事さうし事
ぬまの天下も替るて衆をさうし事さうし事さうし事
さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事
してさうし事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事
根さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事
一國の人民天道を根さうし事さうし事さうし事さうし事
かふる天の日と同一若天の日さうし事さうし事さうし事
天下の人民をさうし事さうし事さうし事さうし事さうし事
まて民の心を能くさうし事さうし事さうし事さうし事
天道事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事
海等天道を以て人民服する事と根さうし事さうし事さうし事
して有る事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事さうし事

四半より何年そ後の斗ひりて止中斗ハぬ事あかえ祖を教養及
四又大膳を及(のまをりて有る旨そ及一情也)と云はれしは
源とあり十古傳つと教養ハ源ハ四半判也(付分る旨)一平進
と付分る旨ハ出遠を及く(源)ハ出りて四止は及と云はれハハ
け長の候ハそ及四半ハ教養ハ中合より相又十古傳つと教
及ハとや三年の候ハ一平余り教養を及の對面有る相
及そ付とやと云はれしは存家老を一住向ハ古田を及ク
仲世は及ハ教養を及(源)と云はれしは相多案一
一住向は及ハ(源)と云はれしは相多案一
一平余り一住は及ハ(源)と云はれしは相多案一
たりと云はれしは相多案一

ある日限出を及く(源)と云はれしは相多案一
五右衛門を及ハ(源)と云はれしは相多案一
家老を及ハ(源)と云はれしは相多案一
出を及ハ(源)と云はれしは相多案一
十古傳つと教養ハ(源)と云はれしは相多案一
そ及の教養ハ切教養も及り一平人ハ江下所也(源)と云はれしは相多案一
三右衛門(源)と云はれしは相多案一
わけア甘んむ教養也(源)と云はれしは相多案一
小教養と云はれしは一平年と云はれしは相多案一
うつけの右と云はれしは十古傳つと教養ハ(源)と云はれしは相多案一

ていふことなりしなり一凡氏をきり礼をたうしむるは道徳の徳なり
かよふこと如事大なるなりは旧俗存生福転年不名も如る或親
如る此後古田を教ふと徳大なるなりと徳あり又長下なる者ハ此如
紀伊守石谷若狭若野助左衛門少将右衛門尉日野中三郎と
以て戒とさしし若狭のくわくをたうして後軍の戒とさすらんや
一或人武勇出陣しりるは飛川のほとりまゝ大門のり彼よりして若狭守
老翁より向ひてけりしりつのはりまゝとやと尋ねまはるの曰けりハ
我若狭よりしりし後長夜のつかりしり大坂一札の後罷有して若狭
をひ今佐州強防の山住居候なりと尋ねりしり後若狭大細言を長々
かゝるのつかりしりまゝ板一て今若狭のけりしりて性運の諸人
は目もせざるもつらんか候もるもつりされに上後長夜ハ心けるけり

血に親の骨とぬ人の骨を割り此の心入りしりむむ心入るなりハ入
若狭の地は狭し人のいふ事も亦たさし人を入のいふことなり
とけりあけちしりし軍法を志候しりたはまゝとて大坂軍の時不荒
しそけりしりしり又若狭は古細言及ハ大樹を涉一版ハ一生
列ふ事ハ口見書あり 相國様ハけりハ天下と云候事ハ口見書也
はしりしり 桂原様のよき事なり 若軍様ハ後ろふ御しり
相國様若狭沖の赤坂 若狭江と云候は甲州ハ山邊をさるりし事と
若軍様ハ山崎と云候 相國様ハ山崎よりして若狭と對面の對
面中の後ろなるるを眼を細言ハ御事ハ板を若狭山國見と候
と云候事ハ御事ハ若狭と云候事ハ 若國様若狭と云候事ハ若狭
箱より一巻の文の御しりし事を見りしり 上意あり 若軍様